



## 概要

津別町は、人口約6千人の過疎地域であり、高校生の通学、高齢者の通院等の住民生活に不可欠な公共交通は、4路線の町営バス等により維持しているが、利用者は少なく町の財政負担は増大している。このため、町営バスの運行の効率化や利便性の確保を目指し、利用が低迷している路線について、定時定路線の運行から、スクールバス・デマンドバスの運行へ転換する等の調査検討を実施する。

### 地域公共交通の現況

- ・(株)北見バス(津別 - 美幌 - 北見)
- ・町営バス(二又線、上里線、相生線、開成線)
- ・スクールバス(恩根地域)

### 地域公共交通の課題

- ・高校生、高齢者の移動手段の確保
- ・町営バス(二又線、上里線)の利用が低迷  
(スクールバスへの転換構想あり)

### 調査の主な内容

- ・現況交通実態調査
- ・利用者ニーズ把握調査(アンケート調査)
- ・町営バスの運行の効率化策の検討

### 策定する地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・町営バス(二又線・上里線)のスクールバスとデマンドバスへの転換の検討
- ・相生地域へのデマンドバスの導入検討
- ・町営バスの待合施設の整備の検討



## 津別町地域公共交通活性化協議会 調査事業の取組状況

### 主な調査の実施内容

協議会開催状況

4回開催

分科会等開催状況

-

左記開催状況は  
H21.1.30現在

#### 現況交通実態調査

・各種統計資料による人口、世帯、交通概要等の調査及び乗降調査を基に町内バス路線の利用状況調査を実施。(H20.7~11月)

#### 利用者ニーズ把握調査(アンケート調査)

- ・住民の移動実態、公共交通への要望等を把握するため町内全戸アンケートを実施。(H20.10月)
- ・人口が少ない町内一部地域における自治会長や住民へのヒアリングを実施。(H20.11月)

#### 町営バスの運行の効率化策の検討

・現況交通実態調査や利用者ニーズ調査を基に、協議会において町内交通の活性化、効率化策を協議するとともに、事業収支の試算等を実施。(H20.12月~H21.2月)

### 予定している連携計画の内容

既存交通手段の活用による重複路線の統合(実施主体:津別町・(有)津別ハイヤー・町教育委員会・(株)津別町振興公社、H21~22)  
・スクールバスの混乗化および町営バスのダイヤ改正により、両路線とルートが重複している町営バス路線を廃止のうえ路線を統合。

町営バス相生・開成線の車両配置および人員配置の再構築(実施主体:津別町、H21~22)

・車両台数削減・小型化、人員配置の効率化を図るとともに、運行・運営サイドでの業務効率化を実施。

既存車両の再配置と新規車両の導入(実施主体:津別町・町教育委員会・津別町デイサービスセンター、H21~23)

・デマンドやドアツードア型サービス等、小型車両による交通体系への対応のため、既存車両の再配置や新規車両を導入。

### 自己評価のポイント

乗降調査、アンケート調査等により必要な調査を行うとともに、法定協議会において合意形成を図っている。

### 二次評価のポイント

一部の事業についてはさらに検討の具体化を進めるようアドバイスする。